

水生生物調査 2021年 1月~6月

上瀬谷A地点・田んぼ

月 日 時刻	1月16日(土)14:10		2月22日(土)13:15		3月20日(土)14:20		4月19日(月)13:30		5月15日(土)14:05		6月24日(土)13:20	
場所	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB	A	TB
気温	19.5	—	23.2	20.6	18.1	17.3	23.0	20.2	26.2	21.8	27.9	24.7
水温	—	—	—	—	16.7	19.5	18.6	22.2	22.1	23.5	20.3	22.2
PH	—	—	—	—	6.5	7.8	7.2	7.3	6.5	6.9	7.4	7.1
1 ヨコエビ	○		○				○		○			
2 ミズムシ(ダンゴムシ型)	○				○		○		○			
3 ミズムシ(ボート型)												
4 サホコカゲロウ											◎	○
5 カクツツトビゲラ	○											
6 ユスリカ							○			○		○
7 ガガンボ									○			
8 アメンボ						○	○	○		○	○	○
9 プラナリア	○						○				◎	
10 ミミズ												
11 イトミミズ							○					
12 ミジンコ			○									
14 ハイイロゲンゴロウ												
15 ガムシ												
16 ヤゴ(シオカラ等)										○		
17 カワニナ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○
18 マルタニシ												
19 シジミ	○				○				○			
20 サカマキガイ												
21 ドジョウ												
22 クロメダカ												
23 ヘイケボタル												
24 ヌマエビ	○						○	○		○	○	◎
25 スジエビ												
26 ザリガニ							○	○		○		◎
27 サワガニ									◎		(死体)	
28 オタマジャクシ								◎				◎
29 カワモズク												
30 アオミドロ					○							
31 サヤミドロ												
32 その他												
備考	<p>両観察地点とも干上がってしまい、かろうじて湿っていたところで7種類の水生生物が捕集できた。天気予報によればこの先も降雨はなさそう。卵でさえ生き続けられるかわからない状態である。異常な気象が続いている。</p> <p>両地点とも干上がり後の降雨によってできた小さな水たまりにわずかに水生生物が観察された。A地では久しぶりにミジンコが観察できた。田んぼビオトープのハイイロゲンゴロウは生き延びていけるだろうか。</p> <p>降雨のない期間が長かったため大谷戸全域の水路が乾いてしまっている。今まで枯れたことの無かったアビオトープ湧水出口も全く乾いてしまった。異常気象としか言いようがない。野生生物にとっても厳しい状況</p> <p>A: 辛うじて湿っていた水路に新しい雨水が溜まった。緑の藻類はなく水路は全面茶色になっているが、予想した以上に多くの水生生物が観察できた。TB: オタマジャクシは放流したアズマヒキガエルが育っているもの。</p> <p>A: サワガニの幼体が4匹も採取できた。水路が殆ど干上がった期間があったが、遅く生き延びていた。今冬は干上がりが多かった為かカワモズクは発生していなかったようである。シラスウナギのような生物?を初めて観察。</p> <p>A: 水田に入れる水が豊富で流速が速い。水生生物はU字構壁面についたアオミドロ状の藻の中と底面の砂利の中に生息している。TB: 田んぼの土盛り工事の影響でビオトープに入る水が減少している。ハイイロゲンゴロウに復活してほしい</p>											